

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 8
要綱上の 事業名称	(31)防災対策強化事業
細要素事業名	地域防災力向上促進事業
全体事業費	10,000千円
<p>市街地整備事業（津波復興拠点整備事業）における災害時の活動拠点の機能の発揮には自主防災組織による防災活動の支援や連携が前提である。そのため、社会の様々な場で減災と社会全体の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識、知識、技能を有する人材を育成する研修をモデル的に実施するもの。</p> <p>これにより、研修受講者を防災リーダーとした地域防災力の向上、ひいては津波復興拠点整備事業による防災拠点整備の効果を促進するもの。</p> <p>委託費（事業費）（26年度）</p> <p>1. 地域防災教育人材育成業務委託 5,000千円</p>	

この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 6 - 3
要綱上の 事業名称	(1) 市街地整備コーディネート事業
細要素事業名	都市再生区画整理事業に伴う業務支援事業 (田老地区都市再生区画整理事業地内)
全体事業費	14,567千円
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた田老地区では、都市再生区画整理事業及び防災集団移転促進事業により復興まちづくりを実施する。</p> <p>本事業は、これら面整備事業とあわせ実施する水道施設の整備に係る発注事務及び監理業務等を委託することにより、復興事業におけるマンパワー不足に対処し、まちづくり事業と一体として水道施設の整備を図り、基幹事業である都市再生区画整理事業の円滑な実施、加速を図ろうとするものである。</p> <p>水道整備事業支援業務一式 委託費 (H26) 6,621千円</p> <p>《内訳》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田老地区水道施設整備工事施行に関する一体的業務委託一式 6,621千円</li> </ul>	

全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。



参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 8 - 4
要綱上の事業名称	(1) 市街地整備コーディネート事業
細要素事業名	都市再生区画整理事業に伴う業務支援事業（鍬ヶ崎光岸地地区）
全体事業費	31,216千円
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた鍬ヶ崎地区では、都市再生区画整理事業により復興まちづくりを実施する。</p> <p>本事業は、これら面整備事業とあわせ実施する水道施設の整備に係る発注事務及び監理業務等を委託することにより、復興事業におけるマンパワー不足に対処し、まちづくり事業と一体として水道施設の整備を図り、基幹事業である都市再生区画整理事業の円滑な実施、加速を図ろうとするものである。</p> <p>水道整備事業支援業務一式 委託費（H26） 14,189千円</p> <p>《内訳》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 鍬ヶ崎光岸地地区水道施設整備工事施行に関する一体的業務委託一式 14,189千円</li></ul>	

全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 1 - 4
要綱上の 事業名称	(1) 市街地整備コーディネート事業
細要素事業名	防災集団移転促進事業に伴う業務支援事業 (田老地区防災集団移転促進事業地内)
全体事業費	22,892千円
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた田老地区では、都市再生区画整理事業及び防災集団移転促進事業により復興まちづくりを実施する。</p> <p>本事業は、これら面整備事業とあわせ、水道施設の整備に係る発注事務及び監理業務等を、防災集団移転促進事業の委託者に委託することにより、まちづくり事業と一体として水道施設の整備を図り、基幹事業である田老地区防災集団移転促進事業の円滑な実施を図ろうとするものである。</p> <p>水道復旧事業支援業務一式 委託費 (H26) 10,405千円</p> <p>《内訳》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 田老地区水道施設災害復旧工事施行に関する一体的業務委託一式 10,405千円</li></ul>	

全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。



参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 3 - 2
要綱上の事業名称	(5) 移転促進区域が含まれる区域の土地利用計画策定調査事業
細要素事業名	移転促進区域等の土地利用計画検討のための調査事業 (法の協地区)
全体事業費	30,600千円
<p>法の協地区においては、東日本大震災の津波により大きな被害を受け、防災集団移転促進事業の移転促進区域としている。</p> <p>当地区においては、防潮堤を整備 (T.P+10.4mに嵩上げ) した場合でも最大クラス(L2)の津波発生時には浸水が予想されている中で、当該地区の今後の土地利用計画を検討するために必要な測量・地質調査を実施するもの。</p> <p>平成26年度分 測量調査費                      30,600千円</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 1 - 5
要綱上の 事業名称	(5) 移転促進区域が含まれる区域の土地利用計画策定調査事業
細要素事業名	移転促進区域等の土地利用のための調査事業 (田老地区)
全体事業費	2,550千円
<p>移転促進区域において、防災集団移転促進事業により取得した土地等跡地の利用促進を図るため、具体の土地利用が見込まれる跡地に存する道路（赤線）道路法の適用を受けないもの）について、機能を果たさなくなることから、その用途を廃止することとし、利用形態に即して登記簿上地番・地目を設定したうえで貸し付ける必要があり、当該用地の測量業務を委託するもの。被災地区の土地の有効活用を図る観点から復興まちづくりに資するものであり、基幹事業の効果を高めるものである。</p> <p>用地測量業務一式 委託費 (H26) 2,550千円</p> <p>《内訳》 ・ 法定外公共物の用地測量業務一式</p> <p style="text-align: right;">2,550千円</p>	

全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。



参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 11 - 2
要綱上の事業名称	(5) 移転促進区域が含まれる区域の土地利用計画策定調査事業
細要素事業名	移転促進区域等の土地利用のための調査事業 (赤前地区)
全体事業費	3,088千円
<p>移転促進区域において、防災集団移転促進事業により取得した土地等跡地の利用促進を図るため、具体の土地利用が見込まれる跡地に存する道路（（赤線）道路法の適用を受けないもの）及び水路（（青線）河川法の適用及び準用を受けないもの）について、機能を果たさなくなることから、その用途を廃止することとし、利用形態に即して登記簿上地番・地目を設定したうえで貸し付ける必要があり、当該用地の測量業務を委託するもの。被災地区の土地の有効活用を図る観点から復興まちづくりに資するものであり、基幹事業の効果を高めるものである。</p> <p>用地測量業務一式 委託費 (H26) 3,088千円</p> <p>《内訳》 ・ 法定外公共物に係る用地測量業務一式</p> <p style="text-align: right;">3,088千円</p>	

全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 12								
要綱上の事業名称	(23)避難誘導機器整備事業								
細要素事業名	津波浸水表示板整備事業								
全体事業費	3,000千円								
<p>東日本大震災津波により被災し浸水した地域において、津波浸水表示板を設置する。                  浸水した地域に設置することにより東日本大震災の津波の風化を防ぎ、公共土木施設の標識等に浸水高さを表示することにより、実物大のハザードマップとして住民の避難の備えや、地域事情に不案内な観光客等にも注意喚起を促すとともに、有事の際には避難対象地域であることの指標となることを目的に設置する。</p> <p>I. 津波浸水表示板設置 <span style="float: right;">3,000千円(民間)</span></p> <p>①設置枚数 <span style="margin-left: 100px;">180枚</span></p> <p>②規格のサイズ <span style="margin-left: 100px;">縦2,300mm×横600mm</span></p> <p>③設置地区</p> <table style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>田老地区</td> <td>43箇所</td> </tr> <tr> <td>宮古地区</td> <td>108箇所</td> </tr> <tr> <td>重茂地区</td> <td>29箇所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>180箇所</td> </tr> </table>		田老地区	43箇所	宮古地区	108箇所	重茂地区	29箇所	計	180箇所
田老地区	43箇所								
宮古地区	108箇所								
重茂地区	29箇所								
計	180箇所								

この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。



参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 17 - 8 - 5
要綱上の事業名称	(43)復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	被災地区街区番号整備事業（鉾ヶ崎地区）
全体事業費	13,166千円
<p>東日本大震災により被災した地区について住居表示事業を実施する。                  鉾ヶ崎地区は、東日本大震災津波により地区内の大部分の建物が破壊・流失するなど壊滅的な被害をうけた。現在は復興を促進するため区画整理事業が実施されており、これまでの街区境とされていた道路等の位置が変わることから、新たに街区を設定し基礎番号を振りなおすもの。</p> <p>平成26年度鉾ヶ崎地区                      12,240千円</p>	

全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

